

# 白帯歓迎!! CGI道場

著者: KENT

1959年生まれ。自作 CGI スクリプトの配布をメインとするインターネットページ制作の支援サイト「KENT WEB」管理者。静岡県静岡市在住。

www.kent-web.com

illustration: Ebisu Yoshikazu



## 第4回 オリジナル掲示板に挑戦! (後編)

前回の掲示板の設置に続いて、今回は「後編」として掲示板の改造に挑戦してみよう。まず改造への基本に触れ、「文字色の選択機能」の追加と「書き込みの管理者限定機能」への改造を紹介する。

### 1 まず形から覚えるべし Perlの基礎を学ぼう

#### Hello World! Perlに触れてみよう

運動選手が試合前に念入りに準備運動をするように、改造に入る前に準備体操程度の学習をしてみよう。

今回は、Perlの基本として「Hello World!」という英文を表示させてみる。この作業は英語学習で「This is a pen.」を最初に学ぶのに似ていて、Perlを最初に学習する場合はこれを学ぶことが慣例になっている。

右下の図にある7行のソースを、「秀丸エデ

ィタ」などのテキストエディターで入力して「hello.cgi」というファイル名で保存する。先頭行の「Perlのパス」はプロバイダーで決められたパスに変えよう。

次に、「hello.cgi」をFTPクライアントでプロバイダーのCGIの実行可能なフォルダーにアスキーモードで転送して、パーミッションを755に設定すればOKだ。ブラウザで「hello.cgi」にアクセスすれば「Hello World!」の文字が現れるはずだ。

それでは、この「hello.cgi」の内容を解説

しよう。

2行目から6行目までにある「print ~」は、「~を表示する」という命令文だ。最後にセミコロン(;)があるのは「実行文がここで完了する」という意味だ。

2行目の「Content-type: text/html」は、今から表示する内容が「HTML文書」であることを宣言するための取り決めだ。さらにその後に「¥n」が2回続いているが、¥nは「改行」の意味で、Content-typeを指定した次の行は空行でなければならないという規則なので、改行を2度続けている。

7行目の「exit」は処理の終了という意味だ。この「hello.cgi」はCD-ROMに収録しておくので参考にしてほしい。



ソフトウェアの収録先  
秀丸エディタ [A] Win HIDE-MARU  
FFFTP [A] Win FFFTP  
Jedit [A] Mac Jedit  
Fetch-J [A] Mac Fetch-J

CGIサンプルの収録先  
[A] Magnavi Ip0110 Cgi

#### hello.cgiのソース

```
1 #!/usr/local/bin/perl
2 print "Content-type: text/html¥n¥n";
3 print "<html><head><title>Hello World !</title></head>¥n";
4 print "<body>¥n";
5 print "Hello World !¥n";
6 print "</body></html>¥n";
7 exit;
```

入力は半角文字で行う。行末のセミコロンを忘れずに入力するようにしよう。

# 2 まずは小手調べ、この先には黒帯試験が待っているぞ 投稿の文字色を選べるようにしよう

## 掲示板をカラフルに 改造は4か所

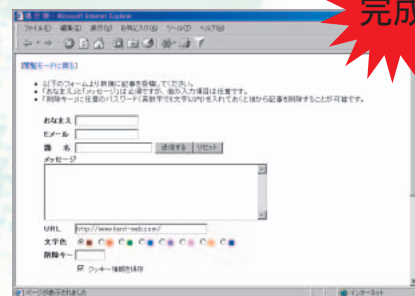
では、前編で使用した掲示板のスク립ト「wbbs.cgi」を改造しよう。これはCD-ROM[A]に収録されている。

まず、記事の投稿時に本文の文字色を8色から選択できるようにしよう。これにより、掲示板が見た目にカラフルになる。また、常連が集う掲示板では、投稿者は決まった色を使うので、色を見るだけで直感的に誰からの書き込みかがわかるようになる。

サンプル掲示板「wbbs.cgi」を、CD-ROM[A]からパソコンにコピーしよう。ウィンドウズの場合は、コピー後に「読み取り専用」属性を解除する必要がある。ファイルを右クリックして、「プロパティ 読み取り専用」のチェックを外す。

ここまでの作業が完了したら、「秀丸エディタ」で「wbbs.cgi」を開いてみる。改造する場所は以下のとおりだ。修正場所によっては、1文字でも間違えるとCGIスク립トが動作しなくなるので、慎重に編集しよう。

なお、この改造後のサンプルとして「wbbs2.cgi」ファイルをCD-ROM[A]に収録しておくので参考にしてほしい。



### 1 設定部での文字色指定の追加 (72行 ~)

```
72 # 題名部ポインタの色
73 $sub3_col = "#FCC22C";
74
75 # 追加
76 @color = ("#800000", "#DF0000", "#008040", "#0000FF", "#C100C1",
           "#FF80C0", "#FF8040", "#000080");
```

囲みの中の2行を追加する。文字の色をオリジナルしたいときには、#のあとの数字を16進数で入力すればOKだ。

### 2 記事表示部の改造 (125行 ~)

```
125 # 変数$colorを追加
126 ($no,$date,$name,$mail,$sub,$com,$url,$host,$pw,$time
    ,$color) = split(/</>/);
127 if ($mail) { $mail = "<a href='mailto:$mail'>
    $mail</a>"; }
128 if ($url) { $url = "<a href='http://$url'>
    target='_blank'>http://$url</a>"; }
129 &auto_link($com);
130 # 以下2行を追加
131 if ($color eq "") { $color = $color[0]; }
132 $com = "<font color='"$color">$com</font>";
```

126行に「,\$color」を追加する。新たに130行、131行、132行を追加する。

### 4 記事表示部の改造 (125行 ~)

```
277 unshift(@lines, "$no<>$date<>$in{'name'}<>$in{'email'}
    <>$in{'sub'}<>$in{'comment'}<>$in{'url'}<>$host<>$pwd<
    >$time<>$in{'color'}<>");
```

ここは、そのまま入力しよう。

### 3 投稿フォーム部の改造 (222行 ~)

```
222 <tr>
223 <td><b>URL</b></td>
224 <td><input type='text' name='url' size=
    "$f_url" value='http://$c_url'></td>
225 </tr>
226 EOM
227 # 追加
228
229 # 追加ここから
230 print "<tr><td><b>文字色</b></td><td>¥
    n";
231 print "<input type='radio' name='color'
    value='¥'$color[0]¥' checked><font
    color='¥'$color[0]¥'> </font>¥n";
232 foreach (1 .. $#color) {
233     print "<input type='radio' name='color'
    ¥'$color[$_]¥'>";
234     print "<font color='¥'$color[$_]¥'>
    </font>¥n";
235 }
236 print "</td></tr>¥n";
237 # 追加ここまで
238
239 # 追加
240 print "<<EOM";
241 <tr>
242 <td><b>削除キー</b></td>
243 <td><input type='password' name='pwd'
    size=8 maxlength=8 value='"$c_pwd"'></td
    >
244 </tr>
```

230行の「文字色」を書き換えると、記事投稿時の項目名が変わる。233行、234行の行頭の空白は半角スペースを使う。235行の閉じカッコを忘れないように注意。

# 3

# 黒帯試験はキツイがガンバレ! 新着情報や日記の発表を簡単にしよう

## 日々の管理を簡単に CGIのメリットを活かす

最後に、書き込みを管理者限定にする改造だ。新着情報や日記など、管理者だけがコンテンツの更新を行う部分は、掲示板CGIを使って管理すれば便利だ。これをHTMLで行うと、最初にHTMLを編集してFTPで転送、ブラウザで確認という手順になる。CGI掲示板なら、ブラウザから即座に書き込んで確認もその場でできる。書き込むときのレイアウトなどは意識しなくてもよいので、大変便利であろう。

改造は前ページで使った「wbbs.cgi」をベースに行う。今度は改造量が多いが頑張って挑戦してほしい。



### 1 投稿フォームサブルーチンの追加 (91行~)

```
91 elsif ($mode eq 'usrdel') { &usrdel; }
92 # 追加
93 elsif ($mode eq 'form') { &form; }
94 &html;
```

ここは、とりあえずこのまま入力しよう。

### 2 記事表示部「書き込み」のリンク削除 (106行)

```
106 <!-- [ <a href="$script?mode=form&page=$page">書き込む</a> ] -->
```

106行を「<!-->」で囲うことで、掲示板の左上のメニューにある「書き込み」を表示させないようにする。なお、この前後の文が左上に表示される文字を決めているので、これらを変更したい場合は「トップに戻る」などを変更する。

### 3 記事表示部の記事ナンバーと投稿者名を削除 (137行~)

```
137 #print "<tr><td width=14></td><td>No</td><td>&nbsp; ; <b>$no</b></td></tr>\n";
138 #print "<tr><td width=14></td><td>Name</td><td>&nbsp; ; <b>$name</b></td></tr>\n";
```

行頭に「#」を加える。Perlでは、「#」以降はプログラムとして実行されないので、この行は削除したものと扱われる。CGIスクリプト中に自分で脚注を入れたいときは、行頭に半角で「#」(カッコ含まず)を入れる。

### 4 記事表示部の記事削除フォームを削除 (163行~)

```
163 #print "<table align=right><tr><td nowrap align=center>\n";
164 #print "<form action=$scriptY" method=POSTY">\n";
165 #print "<input type=hidden name=mode value=usrdelY">\n";
166 #print "記事No<input type=text name=no size=3>\n";
167 #print "削除キー<input type=password name=pwd size=4 maxlength=8>\n";
168 #print "<input type=submit value=Y"記事削除Y"></td></form>\n";
169 #print "</tr></table><br clear=all>\n";
```

こちらも行頭に「#」を入れて、掲示板の右下に表示される「記事削除」ボタンなどを表示させないようにする。

### 5 投稿フォームの改造 (182行~)

```
182 local($f_name,$f_sub,$f_cols,$f_url,$c_name,
     $c_email,$c_url,$c_pwd);
183 if ($in{'pass'} ne $pass) { &error("パスワードが違います"); }
184 &header;
```

183行と184行を追加して、他人が投稿用のURLを直接指定した場合、「パスワードが違います」と表示されるようにする。入力をおろそかにすると、直接URLを指定したときにサーバーエラーが発生する。

### 6 投稿フォームの改造 (192行~)

```
192 <!--
193 <UL>
194 <LI>以下のフォームより新規に記事を投稿してください。
195 <LI>「おなまえ」と「メッセージ」は必須ですが、他の入力項目は任意です。
196 <LI>「削除キー」に任意のパスワード(英数字で8文字以内)を入れておくと後から記事を削除することが可能です。
197 </UL>
198 -->
```

192行に「<!--」を、198行に「-->」を入れて投稿画面から投稿時の注意を消す。



### 7 投稿フォームの改造 (199行~)

```
199 <input type=hidden name=mode value="regist">
200 <input type=hidden name=pass value=
    "$in{'pass'}">
```

これも、とりあえずこのまま入力しよう。

### 8 投稿フォームの改造 (182行~)

```
182 <!--
183 <tr>
184 <td><b>おなまえ</b></td>
185 <td><input type=text name=name size="$f_nam ~
186 </tr>
187 <tr>
188 <td><b>Eメール</b></td>
189 <td><input type=text name=email size="$f_nam ~
190 </tr>
191 -->
```

この改造では、管理者専用の掲示板になるので、名前や電子メールは不要になる。これらがブラウザ上に表示されないように「<!-->」で囲む。

### 9 投稿フォームの改造 (226行~)

```
226 <!--
227 <tr>
228 <td><b>削除キー</b></td>
229 <td><input type=password name=pwd size ~
230 </tr>
231 <tr>
232 <td></td>
233 <td>
234 <input type=checkbox name=cook value=" ~
235 <small>クッキー情報を保存</small>
236 </td>
237 </tr>
238 -->
239 </table>
240 </form>
241 </blockquote>
242 EOM
243 print "</body>\n</html>\n";
244 exit;
245 }
```

ここでも、投稿フォームで不要なものを「<!-->」で囲み、表示されないようにする。

### 0 登録処理部の改造 (247行~)

```
247 local ($no,$date2,$name,$mail,$sub,$com,$url,
    $host2,$pw2,$time2,$pwd);
248 if ($in{'pass'} ne $pass) { &error("パスワードが
    違います"); }
249 # if ($in{'name'} eq "") { &error("名前が入力さ
    れていません"); }
```

248行を追加して、他人が投稿用のURLを直接指定した場合、「パスワードが違います」と表示されるようにする。この掲示板では名前の入力は必要ないので、249行の行頭に「#」を入れて、名前の記入忘れのエラーが表示されないようにする。

### A 検索処理部の改造 (386行~)

```
386 print "<b>$sub</b> - $date<br>\n";
```

386行をこのように書き換えて、367行を削除する。「\$sub」や「\$date」前後のタグを書き換えると、検索結果画面の投稿タイトルのデザインを変更できる。

### B 管理処理部の改造 (416行~)

```
416 print "<form action=$script~
    method=POST~>\n";
417 # print "<input type=hidden name=mode
    value=$admin~>\n";
418 print "<input type=radio name=mode value=admin
    checked> ログ\n";
419 print "<input type=radio name=mode value=form>
    書込<P>\n";
```

418行と419行を追加して、管理者モードの画面で、過去の書き込みの管理か、新たな記事の投稿をするかを選択できるようにする。

### C 管理処理部の改造 (467行)

```
467 print "<th>投稿者
</th><th>コメント
</th><th>ホスト名
</th></tr>\n";
```

この掲示板では、投稿者の名前を入力しないので、「<th> ~ </th>」を削除する。

### D 管理処理部の改造 (483行)

```
483 print "<td>$name</td>
<td><small>$com</small>
</td><td>$host</td></
tr>\n";
```

この掲示板では、投稿者の名前を入力しないので、「<td> ~ </td>」を削除する。

改造はここまでだ。これで書き込みは管理者限定となり、訪問者は閲覧だけができるようになる。改造後のサンプルはwbbs3.cgiとしてCD-ROMに収録しておくので参考にしてほしい。

## 最後に師範より

諸君には、自分好みに改造して、自分だ

けのオリジナル掲示板に仕立て上げる楽しさを味わってもらえることを願っている。CGIを学ぶのに、最初から分厚い専門書を開き、難しい文法から学習してもおもしろみに欠けるものだ。

この連載のように、あるCGIサンプルをあれこれ改造して楽しみながら、CGIの魅力を感じてもらえれば幸いである。諸君のさらなる精進を期待している。



サンプルスクリプト「wbbs.cgi」についての注意

- ・これらのCGIスクリプトはフリーソフトとして使うことができます。
- ・詳細な利用規定については下の「利用規定」を読んでください。

www.kent-web.com/pub/c/kitei.html



## [インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

**株式会社インプレスR&D**

All-in-One INTERNET magazine 編集部

[im-info@impress.co.jp](mailto:im-info@impress.co.jp)